

イタドリの品種選抜に関する研究

(一次選抜系統の早晩性と1年目の成長)

森林経営課：黒岩宣仁、山崎敏彦

■ 目的

高知県では、中山間地の振興に向けてイタドリの生産と加工販売に取り組んでおり、食の安全性や品質を保つために、現在、自然採取から耕作地栽培への転換が進められているところである。県内では品質を重視して選抜された1系統のみの普及を進めているが、収量の増加が期待出来る多収性系統や収穫期の延長が期待出来る早晩性の系統などが求められている。本研究は県内の広域からイタドリを収集保存し、生産者の要望に応じた優良系統を選抜することを目的とする。本年度は、早晩性、害虫の発生および試験供用苗の1年目の成長について報告する。

■ 内容

収集した152系統の親株の中から2022年4月中旬に一次選抜した38系統と、対照系統2系統（高知県選抜1、和歌山県選抜1）計40系統400株の挿し木苗を、「高知県イタドリ栽培・加工指針（2020）」に準拠して2022年12月上旬に当センターの圃場に植え付けた。早晩性を調べるために、植え付け約4ヶ月後の2023年3月中旬から地上に出た芽の数を2～4日おきに記録し、系統毎に芽の数が最多になる日を調査した。さらに育成期間中に発生した害虫についても記録した。一方、本研究では検討会において生産するイタドリの規格を草丈40cm以上、茎の根元径1.5cm以上の展葉前の若茎と定義したが、植え付け4ヶ月後では規格サイズの若茎は出なかった。そこで、本年度は栄養成長が休止した2023年10月中旬に地上部を刈り取って茎を定温乾燥機に入れ105℃で48時間乾燥させて重量を測定し、系統間の比較を行った。

■ 成果

図1に3月上旬に若茎が出はじめて最多に達した日を系統毎に示し、図2に6月の生育状況を示した。若茎の出そろう時期は系統によって約1ヶ月程度の差があった。

一方、害虫については若茎が出そろう頃に若い葉や茎を食害するコガタリハムシの幼虫（図3）および成虫が発生した。また、7月～10月頃、11株に穿孔性害虫の食害痕（図4）を確認したが、穿孔性の害虫の確認は難しく種類は特定できなかった。図5に1株当たりの茎の乾燥重量（平均）を示した。2つの対照系統に比べて乾燥重量が重い系統があったが、今回の茎の乾燥重量が2年目以降に計測する若茎の収量に比例するかは今後確認する必要がある。

■ 今後の計画

植え付け2年目の2024年3月～4月に規格サイズ（根元径1.5cm以上、草丈40cm以上）の若茎の本数、根元径と草丈を計測し、3年目には若茎を採取して収量、皮の剥ぎやすさ、茎の厚み等の評価を行う。一方、高知県立大学の研究により、イタドリ葉に含まれるポリフェノール類の有用性が高まっており、その含量は系統毎に異なることが確認されている。そこで、有用なポリフェノール類を葉に多く含む系統の選抜を行う。

月	3							4				
	10	14	17	20	22	24	27	29	31	3	13	20
一ノ谷 3												
南川 5												
西谷 4												
松葉川 3												
県内対照												
中ノ川												
西石原 4												
不寒冬 3												
県羽根 1												
須川 2												
大又山 1												
久才川 1												
丸山 2												
伊勢川 3												
桑の又川 3												
東川 8												
奥白髪 3												
伊勢川 2												
久才川 2												
奥白髪 1												
県外対照												
大野原												
蟻川 2												
竹屋敷 2												
西谷 6												
猪野々 1												
西石原 5												
魚梁瀬 3												
不寒冬 1												
行者 2												
山試 2												
大正市ノ又 1												
成山 2												
下道 2												
檜山 2												
西谷 5												
県羽根 5												
別府 6												
猪野々 3												
下道 3												

※ 芽数が最多に達した日を示す

図1 一次選抜系統の早晩性



図2 試験供用苗生育状況 (2023/6/21)



図3 食害するコガタリハムシの幼虫 (2023/3/29)



図4 穿孔性害虫の食害痕 (2023/11/29)

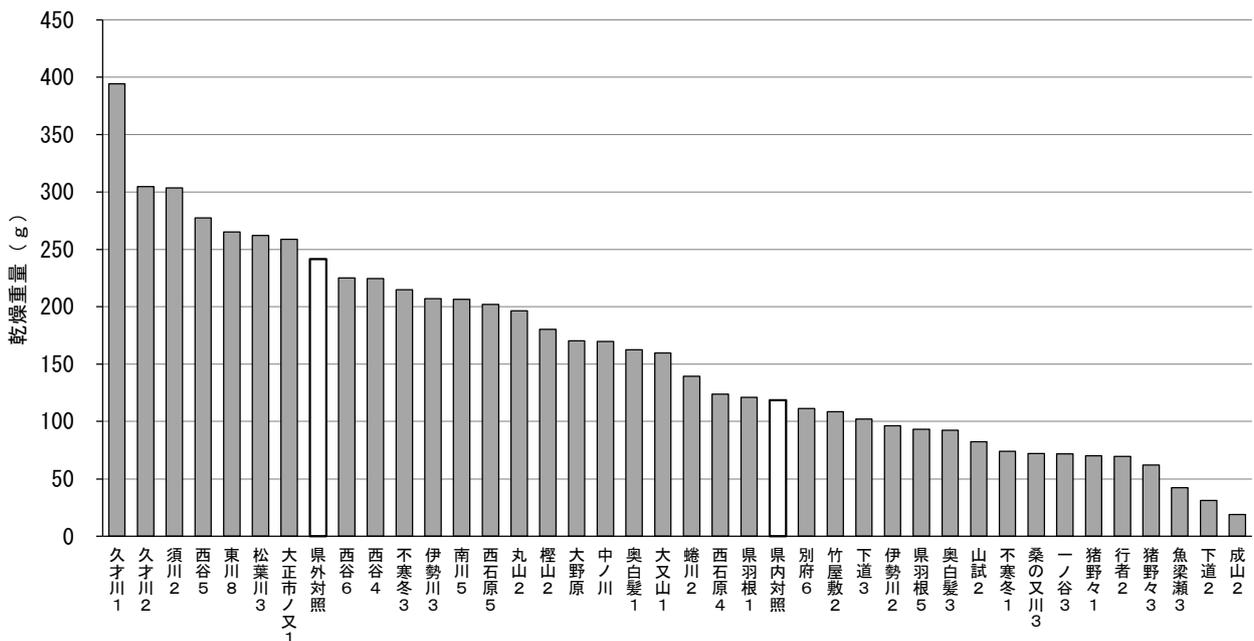


図5 植え付け1年目の1株あたりの茎の乾燥重量 (平均)